

## “地元大学生と連携した食・健康・緑の郷づくり推進”

県央農林総合事務所



興津ファンクラブの皆さん



興味津々南瓜の試食宣伝販売

県森林公園三国山キャンプ場に程近い津幡町興津地区は、基盤整備の進んだ棚田で大型機械による集落営農が行われるなど、中山間地域の中では恵まれた生産環境が備わっている集落ですが、担い手の高齢化・過疎化が進み、近い将来、集落機能が失われることが懸念されていました。

平成22年度から集落ぐるみで取り組み始めたかぼちゃ栽培の作業に、県立看護大学生を受け入れた農作業体験・民泊を実施したことがきっかけとなり、平成23年4月、官・民・学が一体となった「興津創造の会」を結成し、美しい棚田の景観など恵まれた地域資源を地域の活性化に活かすための方法を模索してきました。

当事務所でも、当初からかぼちゃの栽培指導やかぼちゃ・そばの加工品開発、彼岸花オーナー制度実施に向けたアドバイスなど、その活動を支援してきました。

この結果、「自分たちでできること・やってみたいこと」として、①地区の名前にちなんで名付けられたオリジナル南瓜“興味津々”の栽培、②彼岸花オーナー制度（興津ファンクラブ）による交流活動の展開など、会の活動の方向性が明確となりました。

そして、平成25年度には、「興津を元気にする会」として再結成され、“住みたい”“訪れたい”魅力あるむらづくりが住民主導で進められています。

9月からは、いしかわ里山創成ファンド事業を活用して、彼岸花観賞会を兼ねた収穫感謝祭を開催したほか、興味津々南瓜の試食宣伝販売を行うなど、これまでになく忙しい日々が続いていますが、集落の皆さん、特に女性の笑顔が、新たなことにチャレンジする前向きな気持ちを物語っているようです。この“何か変わるきっかけ”を無駄にすることなく、一歩ずつ前進できるよう、今後とも活動を支援していきたいと考えています。

問い合わせ先：県央農林総合事務所農業振興部  
(076-204-2101)